



# 奏

# SOUL

Vol.54 Autumn 2020

**インタビュー：**  
ウェールズ弦楽四重奏団

**特集**  
コロナ禍における  
クラシック音楽業界の動向

- ・世界の音楽コンクール
- ・欧州最新情報
- ・ステージマネージャーの景色から
- ・室内楽とオンライン配信

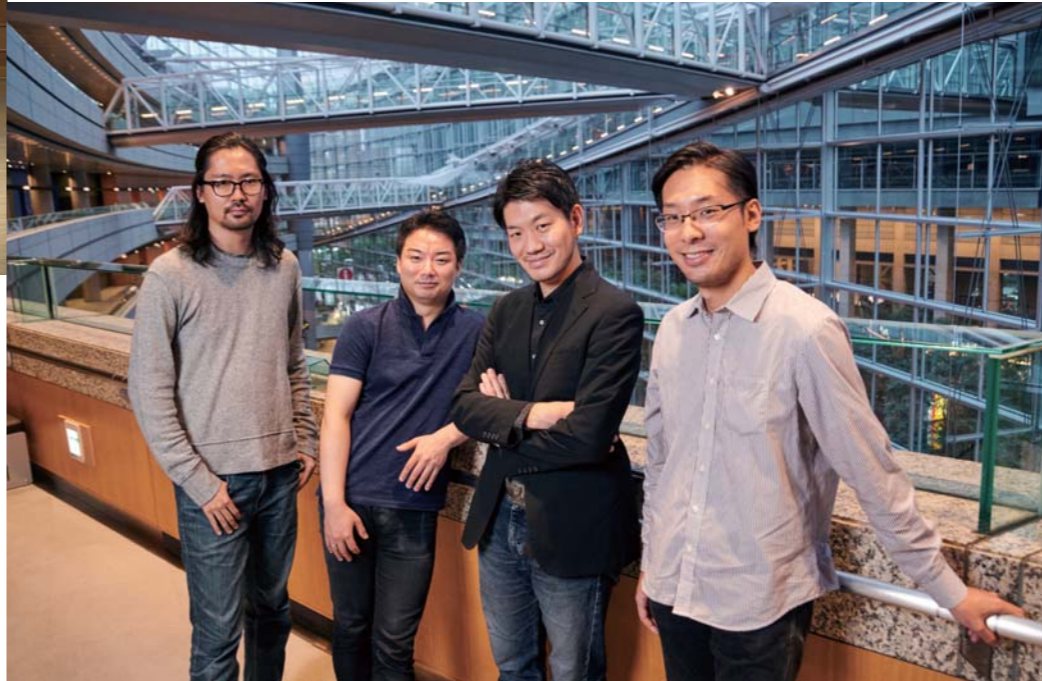
### 第7回(2011年)第3位

# ウェールズ弦楽四重奏団

聞き手【小室 敬幸】



第7回大阪国際室内楽コンクール 第1部門 第3位



左より崎谷直人さん、富岡廉太郎さん、横溝耕一さん、三原久遠さん

国際コンクールとオーディションで目覚ましい成果をあげたクワルテット・アマールビレを筆頭に、今後の活躍が期待されるクワルテット・インテグラやチエルカトーレ弦楽四重奏団等など、昨今は二十代の若手による弦楽四重奏の層の厚さに注目が集まっている。彼らの先駆けとして若い世代に刺激を与えたのが、ウェールズ弦楽四重奏団であることは間違いないだろう。結成から二年後の二〇〇八年に、ミュンヘンARD国際音楽コンクールで第三位を獲得。東京クワルテット以来三十八年振りの快挙である話題を呼んだ。そして、彼らが大阪国際室内楽コンクールに出場したのは二〇二二年の第七回。結果はアタック・クワルテット、シューマン・クワルテットに次ぐ第三位だった。彼らのキャリアにとって、二つのコンクールがどのような位置付けにあるのか？現在の立場から、率直に振り返ってもらった。

「ミュンヘン国際を受けることは、どのように決められたのでしょうか？」

崎谷 いい意味で無知だったんです。結成したのは十九歳ぐらいで、ミュンヘンを受けたのが二十〜二十一歳だったから、勢いだよね。勉強する目標の先に、たまたまコンクールがあった。

横溝 俺なんか、ミュンヘンが何かを知らなかったからね(笑)。

富岡 直接のきっかけをくれたのは(東京クワルテットの創設メンバーである)原田幸一郎先生ですね。二〇〇七年二月に松尾学術振興財団のオーディションがあつて、特に目的はないけど先生に薦められて受けたら、有り難いことに助成金をもらえたんです。

崎谷 飛行機代ぐらいにはなっ

たかな。

富岡 その直後に(桐朋学園大学院大学がある)富山で東京クワルテットに習える室内楽講座に遅れて参加しました。この講座っていうのは本来、先生たちを寝かせないぐらいレッスンを追加して入れるものなんですけど、僕らは予定どおりのレッスンしか受けず、合わせもそんなにしなかった。

崎谷 助成金のオーディションが終わったばかりで燃え尽きてたよね。

富岡 そんな時、原田先生のレッスンで「君たち、来年ミュンヘンがあるから受けなよ。いけるよ！」と言われたんです。調べてみるとコンクールで演奏しなきゃいけない曲が十一曲ぐらいあったかな？そもそも結成し

ていう風に思うほどで、すごく感謝してますね。

実際にコンクールが始まってからの手応えはいかがでしたか？

崎谷 現地に行つて、僕と横溝だけでアマリリス・クワルテットの一次予選を聴いたんです。衝撃を受けましたよ。もう、これは無理だなんて思いましたね。彼らは僕らよりも年上でしたし、キャリアも積んでいた。正直、レベルの違うところに来てしまつたと思いました。

富岡 「ヤバイ！レベル違うわ……」って、俺が一人で(曲を)さつていてそこに来たのを覚えてるよ。

横溝 俺はもう、その瞬間、帰りの航空券を予約変更する準備をはじめたね(笑)。

崎谷 でも、それですごくスッチ入りしましたよ。もう、出来ることをやるしかないわけですから。

ところが最終的には、第三位に入賞。審査委員長のサビーター・ジョナスさんは「非

の打ち所がないアンサンブル、精緻にして繊細な音楽性、そして舌を巻くテクニック。この年齢と経験にしては、驚くほど音楽が成熟していました」と評しています。

崎谷 偶然が起こす奇跡みたいなものって、サッカーとかでもあるじゃないですか。いわゆるジャイアント・キリングみたいな感じだったのかもしれないです。でも、あとで自分たちが同じような立場になってみると、(入賞できなかった)アマリリスさんは当時から悔しかっただろうなと思います。

富岡 僕らがアマリリスより優れていたとは全く思っていないです。順位は審査員が決めることです。必ずしも演奏の出来と一致するとも思っていない。もしかしたらラッキーで取れたかもしれない賞によって、チャンスももらい、留学とか色んな勉強ができたことは良かったと思いますね。

崎谷 ただ、コンクールの後、結果に見合う努力はしてきませんでした。だからミュンヘンの三位

てから二年で三曲しかやつてないのに、夏までに十一曲もレパートリーを増やそうということになったので、富山にある大学付属図書館でなるべく譜読みがしやすく、難しくない……、要するに黒い音符がいっぱいあるものよりは白玉が多い曲を選んだ(笑)。

かなり短期集中で準備されたわけですが、それが良い方に転じたんですね。

富岡 そうなんでしょうけど、もう一回やろうとはあんまり思わないね(笑)。

横溝 二月の富山の講習会か

ら九月のミュンヘンまでの半年ほどの期間も、東京にいる間はもちろんな時間を見つけて集まつて合わせましたし、七月八月はコネチカット州のノーフォークで合宿して、東京クワルテットのメンバーにも来ていただいて。日本に帰ってきてからも、軽井沢八月祭(八月十六〜二十二日)という芸術祭で、コテージみたいなところ泊まつて合宿……。

富岡 石川県にも行ったよね。常に四人が同じ場所で生活して、合わせてた。

横溝 それが効率良いかどうか、今もう一度同じことをしたいかどうかと言われると、また別の話ですけど、あのときはそういう手段しか知らなかったし、それによって出来たのかなとは思っています。

富岡 いま思えば、お金をもらえるオーディションを受けて、富山でちょっと緩んだところでミュンヘン目指しなさいって見られて、図書館があるから曲を見て、その後も出来る限り本番を踏んで……。原田先生は最初から全部、計算してたのかな

がキャリアのハイライトとも思っていないですし、これでやっとスタートラインに立てたという感覚です。



横溝さん

そして入賞した翌年の春にメンパーチェンジがあり、第二ヴァイオリンが水谷晃さんから三原久遠さんに、ヴィオラが横溝耕一さんから原裕子さんへと変わりましたね。既に檜舞台で快挙を成し遂げた先輩方のクアルテットに加入するのは、三原さんにとってプレッシャーではありませんでしたか？

三原 僕は本当、入れてラックキーだと思いましたね。前任者の水谷君も含めて個人的にもすごく学生時代からお世話になつた先輩たちだったし、富山で毎年ウェールズの演奏も聴いていました。彼らはすごく謙遜しますが、ミュンヘンの時も僕はインターネットラジオで聴

いていて、素晴らしい演奏で本当にすごかったですから！

そして現在に至るまで三原さんがクアルテットのプレインとなることで、現在のウェールズの基礎が作られていったと。

富岡 新しく入ったメンバーに僕らが何かを教えるというよりは、一切なく、その真逆で、三原が最初の先生だったんです。彼が入る前のアンサンブルはセンズに頼りつきりで、音程ひとつについても、音程合わせも、音程について言葉を交わしたことも、ほとんどなくて。ただ音程が合ってるかどうか、良いか悪いかだけ。

嶋谷 ちょっと高め、低めとか。

富岡 アンサンブルの方法についても、特にこれといったやり方はなかった。三原に声をかけたのも、彼が室内楽を弾いているのを見て、そういうことを知つてそうだなって思ったからです。だから、スイスでライナー・シユミット先生に習う前に、まず三原から音程の取り方から、アンサンブルの仕方まで習つたようなもんです。今、

にびつくりするような成長をしていて。正直、他の先生だったから、怖いと思います。

ライナー先生に全幅の信頼を寄せていたから出来たわけですね……。

嶋谷 それでも反抗的な生徒だったと思う。正直、いまもう一回、習いたいですね。いつか連絡して……。

富岡 習いたいね。それぐらいすごい指導力。

嶋谷 僕が一番すごいなと思つたのは、ロジカルに色んなことを説明できる部分で、ここはなんでそう弾くのか？なぜなら、こうなつて……っていうのを全部、説明できるんですけれど、しかもそれがちゃんと気持ちと全部リンクしている。ロジックと感情のどっちかに振り切っちゃうことって、簡単だと思うんですけど、両方が混在している。それが僕らの想像できないようなものすごい次元で、世界の頂点を見させてもらったなと思いましたね。

富岡 体の動きとか使い方も全部、自分のやりたい音楽とリ

僕らが大事にしている、フレージやハーモニーを強調して見逃さないように弾くっていうスタイルを最初につくつたのは三原ですからね。

三原さんは、どのように弦楽四重奏についての知識を身につけたのでしょうか？

三原 僕はとにかくミーハー的にクアルテットがすごく好きで、いまだに他のメンバーよりも色々な団体の演奏を知っていると自負する。かつての僕はエマーソンや他のタイプのクアルテットがすごく好きだった時期があったんですけど、高校二・三年生ぐらいの時にどつぷりハーゲンのファンになって。ペーター・ヴェンの十二番のクアルテットのCD(二〇〇四年三月録音)の出だしを聴いたときは心底びつくりしましたね。お聴きいただいたら分かると思うんですけど、どうやってこうい



三原さん

う自然で無駄がない。嶋谷 そうだね。すごく感情が濃い人だった部分も僕は好きでした。めちゃくちゃ怒るし！そんなに僕、ひどいことしました？……みたいに、傷ついたり、悩んだりしたことは結構あつて。自分の持つている感性とつか、もともとの引き出しを一回、全否定されるんですよ。彼の中の理想があつて、長期スパンで教えられている中で、それをこつちも一度取得しないといけないという葛藤はありましたね。そういうのひとつつがとも音楽家だなんて思いましたし、今も自分には全然、足りないなつて思います。

富岡 子どもに会ったときは、すごい嬉しそうな顔をするしね(笑)。

三原 絵とか映画とかを知識としてだけでなく、人間としてすごい色んな芸術を識つていて、教養があるっていうのはこういうことを言うんだなって思

うハーモニーをつくられているんだろう？っていうのに興味を持つたんです。それでハーモニーに軸を置いた音程の取り方、ハーモニーのつくり方をウェールズのみんなど共育したいつて思っていました。

そして、これがハーゲン・クアルテットの第二ヴァイオリン奏者であるライナー・シユミット先生のもとに留学しようという、理由にもなつたわけですよ。彼からはどのようなことを学んだのでしょうか？

富岡 ライナー先生には、弦楽四重奏のアンサンブルのテクニックと、音楽の基本を習つたよね。

嶋谷 今は各自、クアルテットだけじゃなくて様々な活動をしてますけど、彼に習つたことを使えないことはないぐらい、音楽の基本を教わりました。アンサンブルにしても、どのパートを拾うて、どう動かしたらいいのか？今でもオーケストラや他の活動をする上で大きく影響されてますね。

富岡 日本で色んな先生にいました。本当に芸術的な人だつて。

パーゼルで留学中の二〇二一年に、大阪国際室内楽コンクールへ挑まれることになるわけですが、コンクールを受けるきっかけや具体的な理由はあつたのでしょうか？

嶋谷 それも、パーゼルの勉強の過程の一部ってことだよな。



嶋谷さん

富岡 すごく良いコンクールだからってライナー先生に勧められたんです。先生が良いと言つていた理由はたくさんあるんですけど、そのうちのひとつがベルクの《抒情組曲》が課題曲に入っているからで、それが良いことらしいんですね。だけど、こんな難しい曲弾くの！……って言うて僕らはそれが嫌だった。他の曲と比べても断トツに難しいよね、あれ。

三原 難しいと思う。嶋谷 ところが僕たちが受け



富岡さん

頼できるすごい指導力を持った先生ですし、入学してきたときには「このクアルテットはきつと上手くないだろうな」って思つたクアルテットが、三ヶ月後

### 【嶋谷 直人】 Naoto Sakiya (第1ヴァイオリン)

1987年生まれ。ケルン音大、パリ市立音楽院、桐朋学園ソリストディプロマを経てパーゼル音楽院修了。ノボシビルスク国際コンクール1位、メニューイン国際コンクール3位。06年ウェールズ弦楽四重奏団結成。これまでに日本センチュリー交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、NHK交響楽団等に客演コンサートマスターとして出演。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロコンサートマスター。19年石田泰尚とDOS DEL FIDDOLS結成。

### 【三原 久遠】 Hisao Mihara (第2ヴァイオリン)

1989年生まれ。桐朋学園大学を経て、パーゼル音楽院修了。プロジェクトQ、小澤征爾音楽塾、若い人のための「サイトウ・キネン室内楽勉強会」に参加。イヴリー・ギトリス、コリヤ・ブラッハー、ダニエル・ゲーアのマスタークラスを受講。ヴァイオリンを青木晶夫、茂木佳子、澤和樹、木野雅之、藤原浜雄、室内楽を東京クワルテット、原田幸一郎、今井信子、原田植夫、毛利伯郎、指揮を高岡健の各氏に師事。現在、東京都交響楽団 ヴァイオリン奏者。2009年ウェールズ弦楽四重奏団に加入。

### 【横溝 耕一】 Koichi Yokomizo (ヴィオラ)

1986年生まれ。桐朋学園大学卒業。第58回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部入選。06年ウェールズ弦楽四重奏団を結成し、ピオラ奏者として09年まで活動。学内における室内楽試験を首席で修了。宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本等に参加。これまでにヴァイオリンを小川有紀子、小森谷巧、堀正文、徳永二男の各氏に、室内楽を徳永二男、毛利伯郎、原田幸一郎、東京クワルテットの各氏に師事。現在、NHK交響楽団第1ヴァイオリン次席奏者。2013年ウェールズ弦楽四重奏団に復帰。

### 【富岡 廉太郎】 Rentaro Tomioka (チェロ)

1986年生まれ。9歳よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て、パーゼル音楽院修了。札幌ジュニアチェロコンクール特別奨励賞。いしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞受賞。若い人のための「サイトウ・キネン室内楽勉強会」、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、プロジェクトQ等に参加。主要オーケストラの客演首席を始めとし、国内外多数のコンサート、音楽祭に出演。上原与四郎、毛利伯郎の各氏に師事。14年6月から17年3月まで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 客員首席奏者を務める。17年11月より読売日本交響楽団 首席チェロ奏者。2006年ウェールズ弦楽四重奏団を結成。



クの三番も駄目とか  
……。最終的にリゲ  
ティの第一番《夜の交  
容》を、ライナー先生  
が選んだんですけど、  
その時も「これなら君  
たちに向いているかも  
れない」と言われて、  
最初は三日ぐらいで、  
とりあえずでいいから  
読んでこいって言われ  
たよね。

### とりあえずでやれるような曲 じゃないですよ……。

富岡 「弾けなくてもいいか  
ら、大枠だけ捉えて持ってこ  
い」って言われたんで、僕はま  
ずゆっくり弾いたんですよ。と  
ころがそうじゃないと。「弾けて

### ミングでヴィオラが再び横溝 さんに戻り、現在のメンバー になったわけですね。

富岡 横溝と久しぶりに一緒に  
弾いた時に感じたのは、吸収力、  
理解力が僕の五倍ぐらい速いん  
ですよ。だから音楽的なものを  
共有するまでの時間は本当に  
短くて、半年後にはもう二年半  
の隔たりがなくなつて、違和感  
なくやつてたよね。前にやつた  
メンバーに戻すっていうのは結  
構、珍しいパターンだと思うん  
ですけど、いま思い返しても彼  
しかいなかったなと思います。

### これから室内楽に力を注いで いこうという若い人たちに、 アドバイスはありますか？

富岡 メンバーチェンジを恐れ  
ないでほしいですし、メディアも  
聴衆もメンバーが変わったこと  
を、いちいち叩かないでほしいん  
です。今、演奏会を依頼してく  
ださっているホールとか関係者  
の方には本当に感謝しています  
けど、ミュンヘンを取ったあと、三  
原と(原)裕子さんに変わった  
直後って、本当に一個も演奏会  
がなかったですから。

なくてもいいからインテンポで、  
どういう曲だと思いか弾いて  
みる「みたいなのを、三日後ぐら  
いにやらされて。何だか分から  
ないんだけど、君たちは大阪  
でこれを弾けて、そのとき言  
われたんですよ。すごいね、衝  
撃的……。

三原 愕然としましたもん。  
本当に愕然とした、あれは。

富岡 この人、マジで言ってるの  
か!?今の初見みたいな演奏で  
何が分かったんだ!?と思つて。

富岡 俺たちには分かんない、  
プロの観点があつたのかな。変  
わつた指導ですけど、確かに今  
となつてはバルトークの三番よ  
りもリゲティを弾いてよかつた  
し、バルトークよりもリゲティ  
を弾こうつて思うね。

三原 リゲティの一番つて、ただ  
不協和音がぶつかつてるだけ  
じゃなくて、突然ウインナワル  
ツみたいなのが出てきたりと  
か、すごい高度なレベルの食べ放  
題みたいな感じのところがある  
んですよ(笑)。そういう意  
味でお客さまのなかでもバル  
トークの三番よりリゲティの一  
番のほうが面白いと思う人も

当時の僕らは二十一〜二十二歳  
で、三原なんかまだ十代だつた  
でしょ。一生懸命やつてる若い子  
たちをつかまえて、メンバーが変  
わつたから「終わった」とか言う  
のはあまりに無責任だと思ひ  
ます。それは業界や評論家の  
人たちとかでちゃんと守つてあ  
げてほしい。じゃないと、日本の  
カルテットは育たないです。

富岡 海外のカルテットなら、  
カルテットの名前だけを気に  
して、メンバーの名前をあんまり  
気にしてなかったりするのね。  
富岡 若い子たちのなかでも  
素晴らしいカルテットがしばしば  
出てきてますけど、きつとな  
んらか事情で続けられない子と  
か、やめたくなる子とか出てく  
ると思うんですよ。でも、それ  
を大人が責めたら、おしまいだ  
と思う。僕らでいえば、今はメン  
バー全員がオーケストラに所属  
しているわけですけど、そうい  
うことでも叩かれましたから。

富岡 叩かれたというか、残念  
に思う人がいましたけど、それ  
が間違つたイメージでしかない  
ことを伝えていきたいですね。  
メンバーが変わつてもどんだん

いると思う。  
富岡 弾くほうも飽きないよ  
ね。

### 実際に大阪国際室内楽コン クールを受けてみた手応えは いかがでしたか？

富岡 めちゃくちゃあつたんで  
すよ。ミュンヘンるときとは真逆  
で優勝を狙いに行つてましたし、  
勢いじゃなくて、毎日地獄のよ  
うに合わせしてましたから。正  
直三位だと思つていました。

富岡 大阪の時はパッド・コン  
ディションでもちゃんと演奏で  
きるぐらい、いつ弾いても大丈  
夫な状態まで持つて行つていたか  
らね。

富岡 だから、あんな悔しい三  
位はなかつたです。こんなに人  
生で悔しかったことはなかつた。  
同じ三位といつてもミュンヘンの  
時とは全く違った感情なんで  
ですけど、その両方を経験できた  
のつて貴重だつたと思う。ミュン  
ヘンときのアマリスさんじゃ  
ないですけど、それもまた人生  
みたいな……。

富岡 あんなに二次、二次の段  
階では結果発表の時に余裕

良い方向に変化しているし、  
オーケストラに入ることもマイ  
ナスにはなくて、プラスになら  
ている。リハーサルの時間が少な  
くなるということも今は起き  
てません。具体的には良いこと  
しかないんだということを伝え  
ていきたいんです。

富岡 人それぞれ色んな形が  
あるわけだから、それを見守つ  
てあげてほしいよね。やつてる  
こっちは必死で食つていかないと  
いけないけど、弦楽四重奏を続  
けたいし、弾きたいんですから。

### ウェールズ弦楽四重奏団も、コ ロナ禍で演奏会が中止・延期 になっていたわけですけど、七 月十九日にEWSでEWSで演 奏活動を再開されましたね。

富岡 僕らは自粛中、カル  
テットとして何もしなかつたん  
ですが、ラルーチェ弦楽八重奏  
団がすごいオーケストラの(リモ  
トアンサンブル)動画をやってい  
るのを観て、もうこの子たちは  
大丈夫だなんて思いましたね。  
この状況に対応していると思つ  
たし、これが正解じゃないって  
いうのを分かつてやつてる感じが

で、こんなにドキドキしなかつた  
ことはない。でも、結果は自分  
たちが決めるわけじゃないです  
から。聴いてくださった方が決  
める。

富岡 何が足りなかつたんで  
す。

三原 普通はみんな喜んで  
すよね、三位いただいているわ  
けだから。だけど僕たちが本  
当にうなだれていたの、審査  
員のハイメ・ミユラーさん(アルテ  
ミス・カルテット元メンバー)が  
来て、「君たちがやつてることは  
間違つてないから、そのままち  
んと続けてね」って言つてくだ  
さつたんです。僕が習つていた藤  
原浜雄先生にも「君たち、もう  
ちよつと喜んだほうがいいよ」  
って言われました。

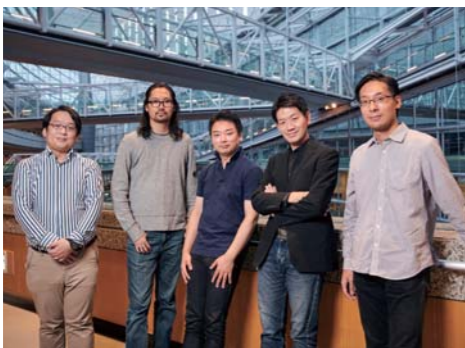
富岡 結果の聞き方がかわい  
くないって言われたね(笑)。

富岡 それも大事だと後輩た  
ちには伝えておこう(笑)。あ  
と、コンクールは本当にきつかけ  
でしかないと思うんですよ。  
取つた後のほうが絶対、大事で  
すから。

### そして留学から帰国するタイ

すごい。逆に、上の世代では「芸  
術が危ない」っていう論調になら  
なくて、両極端を間から見てる  
感じを受けたんですよ。

僕らも年は食う一方だから、若  
い子たちから刺激もらつて生き  
抜かないといけないなつてすごく  
感じました。Hakuj Hallで同  
じ舞台に立つたカルテットイン  
テグラやチェルカトーレ弦楽四重  
奏団たちみたいな子が、これか  
ら色んなコンクール受けると思  
うんだけど、三位以上いつてほ  
いすね。昔は抜かれるのが嫌  
だつたんですけど、今は彼らには  
抜いてほしいと思う。とはいえ、  
抜けなくても叩かないで、周り  
が支える。これがコロナ明けの、  
大人の使命だと思います。



カルテット・ウィークエンド 2020-2021

### 演奏会 情報

ウェールズ弦楽四重奏団

～ベートーヴェン・チクルスIV (全6回)

2021年1月15日(金) 19:00開演

会場 第一生命ホール  
曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第1番 へ長調 Op.18-1  
弦楽四重奏曲 第11番 へ短調 Op.95「セリオーソ」  
弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 Op.131  
チケット 一般¥4,000 シニア¥3,500(60歳以上) U25¥1,500(25歳以下)  
お問合せ トリオンアーツ・チケットデスク TEL:03-3532-5702(平日11:00~17:00)

## 世界の音楽コンクール

河井拓

(大阪国際室内楽コンクール&フェスタプロデューサー)



6月、大阪国際室内楽コンクール&フェスタも2021年への延期開催が決まった

中国に端を発し、アジア地域の感染症のように思われた新型コロナウイルス(COVID-19)は、瞬く間に世界中に蔓延するパンデミックとなった。感染状況や対応などは国・地域によって大きく異なるが、日本では二月二十六日に当時の首相が発した大規模イベント自粛要請により、数ヶ月間コンサート等が自粛を余儀なくされ、五月に開催予定だった大阪国際室内楽コンクール&フェスタも延期となったように、世界中で数多くの音楽コンクールが中止や延期の判断を強いられた。

コロナ禍でコンクール開催を難しくしている最も大きな要因は、いわゆる「三密」である。数多くの演奏者、審査委員、スタッフが一堂に集まる必要があるが、会場、審査委員、参加者のスケジュールをそれ程長期間合わせるのには大変困難である。幸いなことに大阪の場合は、ほぼ一年後の二〇二二年五月への延期で調整出来たが、他の国際コンクールでは延期調整に苦慮している様子も見受けられる。そして、ミュンヘン国際音楽コンクールのように、部門を変えて毎年開催しているコンクールは複数年後まで予定が詰まっているため、玉突き式の変動になってしまう。結果として、今年ミュンヘンで開催される予定だった弦楽四重奏などの部門は二〇二二年への延期で決定した。静岡国際オペラコンクールは、同じエリア内で浜松国際ピアノコンクールが翌年に控えているため、次回の開催は三年後になってしまうようである。

元々二〇二二年に開催予定の国際コンクールも募集期間の延長などを行って様子を見ている

スタッフ一同に会するだけでなく、近年のコンクールでは聴衆を多く募り、さながらフェスティバルのような参加型にもなっている。また運営には多数のボランティアを集めることで、より多くの人々にコンクールを身近に感じてもらう傾向にある。

り、いかに会場の換気機能が優れていても、不特定多数の人間が長時間密接に関わることは避けられない。また、演奏者同

今後心配される事としては、延期されたコンクールによって、来年再来年のコンクールの過密化が想定される。ピアノやヴァ

士もコンクールに向けて長時間のリハーサルを行う過程では、密になる時間は長くなる。

ただし、「演奏者が奏でる音楽を、審査委員が聴き、卓越した演奏者を顕彰する」というコンクールの原点のみに焦点を絞れば、密を減らすことは可能だ。運営スタッフを最低限に減らし、観客はインターネットのストリーミング視聴のみとすれば、舞台上には演奏家、客席には適切な距離を保った審査委員のみとなる。五月まで続いた緊急事態宣言で社会全体が萎縮した状況下では、開催できる余地は無かったが、最近では様々な工夫を凝らしながら徐々にコンクールも再開されつつある(毎日新聞社とNHK主催の日本音楽コンクールも無事に開催された)。

しかし、「国際」コンクールとなると、もう一つの大きな障壁に開催された。イオリンなどのコンクールは元々世界中で膨大な数があるため、延期分が加わればスケジュールの都合で応募を断念する演奏家もいるため、最終的にはコンクールの演奏水準にも影響を及ぼす。また、室内楽やオルガンなどの数の少ない国際コンクールは、開催周期が変更や、今後の開催が不可能になってしまう



第9回大阪国際室内楽コンクールより

た場合、大切にして希少なキャリアステップのチャンスが失われることになる。そして、多くのコンクールでは優勝団体にコンサートツアーなどの副賞が付くことがあるが、コロナ禍の経済的打撃は公演主催者にも大き

が、国際移動の制限である。二〇二〇年十月現在は日本では徐々に制限緩和の動きが出てきているが、半年以上もの間、世界中で国や地域を跨ぐ移動は制限され、仮に他国に入国できたとしても十四日間の自主隔離が求められる。世界中から審査委員や参加者が集まる国際コンクールにおいては、参加者などを二週間も早く入国させて、自主隔離を求めるのは不可能であろう。実際に「国際音楽コンクール世界連盟」に加盟している国際コンクールは、審査委員や参加者に関する既定もあり国内団体に限定した開催は出来ないで、今年三月以降の開催はほぼ皆無と言っても過言ではない。

「今年は開催出来ない」となった際に、次に判断を迫られるのは「延期」か「中止」の選択である。それは、コンクール準備

な困難を与えており、優勝記念コンサートを引き受けられない場所も出てくるだろう。長く続く疫病で世界経済が落ち込んでいる中では、音楽コンクールの価値そのものに疑問を投げかける声も出かねない。

先行きの見えないコロナ禍では、世界中の多くの演奏家にとって、自宅での練習が唯一の音楽活動になってしまった。聴衆の前で演奏する機会を奪われてしまつて、自己の存在意義に不安を感じたアーティストも多いだろう。それでも、演奏家の中には「(延期されても)コンクールが開催されると分かったので、それを目標にモチベーションを保つことが出来る。」等の声も聞こえてくる。未曾有の苦境ではあるが、しかしだからこそ、音楽コンクールはその意義を再度熟考し、音楽家の目指す先に屹立し、彼らのキャリアステップを支援していく必要がある。

最後に、コロナ禍の二つの方法として取り入れられている、オンラインでの演奏審査にも言及しておく。国内でも日本管楽

のどの段階かによって、考え方は変わってくるだろう。予備審査も行っておらず、参加者も決まっていない状態であれば、今回は「中止」にしてしまつて、開催周期に合わせて三年や四年後に開催するという選択肢もある(コロナ禍がどれほどの長期戦になるか見通しが立たない状態では、それが安全かもしれない)。しかし、大阪がそうであった様に、既に予備審査が終了して参加者も発表していた場合、「中止」となると、せっかく参加権利を勝ち取った演奏者のチャンスが失われてしまうことになる。そのため、開催概要を出来るだけ変えない形で「延期」の方法を模索することになる。

「延期」を調整するのは大変なプロセスとなる。コロナ禍の収束が何時になるのが読めない以上、近すぎる日程は危険だが、大阪のように予備審査

合奏コンテストがオンライン審査で開催されるなど、一定の普及が見られる。オンラインでの開催は、感染のリスクを避けられるだけでなく、世界中からの参加が容易になるメリットがあるので、代替案として大いに有用であろう。しかしオンラインの場合、演奏水準だけでなく、撮影録音技術によって、視聴した際のクオリティが大きく左右される。また、事前の録音提出の場合は、提出までに何度でも録画をし直せるため、二期一会のコンサートを生業とする演奏家を顕彰する方法としては疑問が残る。それでも、新しいテクノロジーには大きな可能性もあるため、有用性は向上していくことを期待したい。

本稿を執筆しているのは二〇二〇年十月であり、日本での入国規制緩和方針とは裏腹に、欧米では最初の感染を超える第二波、第三波に襲われている。先行きの見えない不安な日々が続くが、一刻も早く事態が収束し、人々が不安なく音楽を享受できる日が戻ることを祈念している。

筆者が住むベルリンでは、八月末に二〇二〇/二一年シーズンが開幕した。コロナ禍の中、ドイツのオーケストラや歌劇場はどのように新シーズンを迎えたのか。現在に至るまでの道のりを振り返ってみよう。

八月二十八日、キリルペトリンコ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のオープニング公演を聴いた。ベルリン・フィルはそれ以前も無観客で音楽を配信していたが、聴衆を入れての



ベルリン・フィルのシーズン開幕公演から © Stephan Rabold

公演は実に約半年ぶりだった。地元ファンにとっても待望の瞬間となったが、大ホールに足を踏み入れるとそれまでとは多くの点で異なっていた。ベルリン市のガイドライン(当時)では客席数二千二百五十のうち六百三十席しか埋められないため、空席が目立つ。また、客席同様、音楽家同士も約一五メートルの距離を置いて座っているため、音はどうしても拡散してしまふ。ベルリン・フィルが力いっぱい奏で、満員の聴衆がそれを吸収して共に作り上げる熱のこもった音とは微妙に違うのである。それは楽団員も肌で感じたようで、ソロチェロ奏者のオラフ・フマニガーは、「フィルハーモニーで音楽を作る上で、オケと聴衆とのエネルギーの交流がいかに重要であるかを実感した」と語っている。

九月に入ると、ベルリン市は客席間の距離を二五メートルから一メートルに縮めることを認める新しいガイドラインを発表

した。従来の一五メートルのルールではホールの二十五%程度の座席数しか埋められないが、演奏中はマスクを外して聴くことができる。一方「メートルのルールでは、客席の全方向に」席毎に座るため(その様子から「チェス盤」プランと呼ぶ。日本の「市松模様」に相当)、演奏中もマスク着用が義務付けられる。その代わり、稼働率を五十六%まで上げることができ

る。どちらのルールを採用するかは各ホールや劇場に任せられたが、例えばベルリン・ドイツ・オペラは九月末から「チェス盤」を採用し、上演時間が四時間を超えるワーグナーの《ワルキューレ》新演出上演を実現させた(これは国営放送で報じられるほど大きなニュースになった)。毎回のリハーサルでは出演者全員にPCR検査を義務付け、二人の陽性者も出していないという強い意志のもとに準備が進められたという。



9月末に《ワルキューレ》の新演出上演を行ったベルリン・ドイツ・オペラ。座れない席は白でマークされている

通常のワーグナーの公演と同じ十四型編成のオケで《ワルキューレ》を上演できたのも、この劇場が広い空間を持つゆえだった。対照的に、十八世紀の宮廷劇場を原型とするベルリン国立歌劇場では、R・シユトラウス(ナクソス島のアリアドネ)やモーツァルト《魔笛》など、小編成の演目でシーズンをスタートさせた。

このように各団体は、衛生対策に最大限気を配りながら、

限られた条件下で公演活動を再開させていた。実際、これまで目立ったクラスターは発生していない。しかし、十月末からドイツ、さらにヨーロッパ全体で感染者数が急増したことを受け、ドイツ連邦政府と州政府は協議の結果、十一月二日から三十日までコンサートホールやオペラ座、劇場等の文化施設の全面閉鎖を決めた。十一月から本格的に活動を再開させようとしていたオケも少なくない。この全国一律の措置が果たして適切なのか、どうにもやり切れない思いが残る。

十月三十一日、ベルリン・フィルの閉鎖前最後のコンサートで、ペトレンコは急遽ジョン・ケージの《四分三十三秒》を指揮した。この作品に音はない。音楽家がそこにいるにも関わらず、コンサートホールに二音も鳴らない状態が現出した。彼らは沈黙で、不条理な現実に対し抗議の意思を示したのである。

## スポットライトの裏側 — ステージマネージャーの景色から

小味洵彦之 株式会社NHKテクノロジーズ(住友生命いずみホールステージマネージャー)

新型コロナウイルスの感染拡大は、音楽を聴くために人々が集う場であるコンサートホールで演奏会を開催することにも多大な影響をもたらしている。私がステージマネージャーを務める住友生命いずみホールでも、三月二十八日の公演を最後に、七月四日にホールのレジデントオーケストラであるいずみシンフォニエッタ大

開催にもこれらを回避する対策が講じられる。とはいえ、誰にとつても初めての経験である事態の中で、何が正しい方法なのか暗中模索のままに、演奏会開催を再開したというのが実情である。これは日本のみならず、世界中の演奏現場でそこに関わる人々すべてが悩み、迷ってコンサートにのぞんでいたと言

消え去ることがなかった。実際の人数以上に音場が広く感じられるのに、響きの密度が散漫なのだ。ボディの大きな車なのに、エンジンもタイヤのサイズも小さくて、それでアクセルを全開にするから、制御がうまくいかないといった状態に例えられ



誰もいないホールでのシミュレーション

舞台上下も奏者間の距離を取ることが求められた。六月末の時点で標準値として出されていたのが、管楽器は二m、弦楽器を

含むそれ以外の楽器は一五mという数値である。他ホールで聴いた演奏会で、この基準に沿ったオーケストラの配置を目にして、そこで奏でられる音楽を聴いた時に感じた、言い様のない収まりの悪さは脳裡から



西村 朗 12奏者と弦楽のための「ヴィカラーラ」(委嘱新作) © 樋川智昭 飯森範親指揮 いずみシンフォニエッタ大阪 第44回定期演奏会

い。前述した基準通りに舞台に収める方法自体に確信を得ることはできなかったが、それでも不安を拭えないままにリハーサルの初日が始まった。多くの音楽家がこのコロナ禍によって演奏の機会、つまり仕事の場を奪われていた。ISOの活動は年に二回の定期演奏会に若干数の公演が加わる程度で、常設のプロの団体とは形態を異にするが、このリハーサル初日の落ち着かない雰囲気は、結成以来二十年

の歴史の中で初めて体験する感覚だった。「いつも」と違うだけではなく、多くのメンバーが久しぶりの本番だったという。自動演奏などを除くと、人の手による演奏という行為によつて音楽は聴衆のもとへ届けられる。いわゆるクラシック音楽という種類の音楽は、歴史の中で演奏形態が定まってきた。そこに生まれた演奏者同士の距離感とは必然なのだ。今回の新型コロナウイルスの感染拡大によつて、その自然な形態を変えることを余儀なくされた。ただし、夏から秋への時間の経過の中で徐々にではあるが、安全を保ちつつ不自然な要素をなるべく少なくする形で楽器の配置も変化しつつある。関わった全員が疲労困憊の中で、なんとか無事に終えることができたISOの第四十四回定期演奏会のことを、「あの時は大変だったね」と笑って話せる未来がなるべく早くやってくるように。

他人との接触を躊躇するようになってしまった二〇二〇年春先からの世界では、音楽、ましてや演奏家どうしの関わりが本質の室内楽は、存在が否定されたも同然である。そんな状況の突破口が配信技術だった。世界中が巣籠もりに入ったとき、幸運なことに、音や映像の不特定多数への拡散がスマートフォンでのアプリひとつで誰にでも可能な状況は整っていた。かくてコロナ感染爆発防止のロックダウンは、ネット上の音楽配信を大爆発させる。

イースター明けには収束すると思われた異常事態は長引き、大阪国際室内楽コンクール&フェスタは延期。夏音楽祭やセミナーも軒並み中止となる。欧米音楽界は二〇二二年秋の再開も危ぶむ有様だ。配信という媒体も、「人を繋げるツール」から「新たな収入の場」へと変化しつつある。室内楽を切り口に、音楽配信の状況を振り返ってみよう。

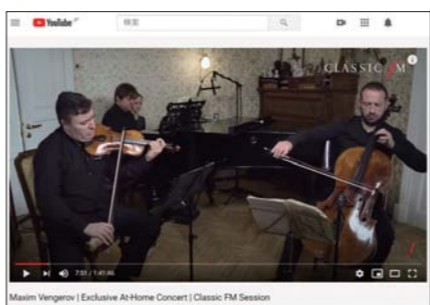
五月後半頃からの欧州で再開された無観客ライブに最初に登場するのは、歌曲と並び室内楽となる。ウィーン国立歌劇場舞台での再開ライブ配信のひとつは、ウィーンフィル団員らによるベートーヴェンのピアノ三重奏曲だった。

劇場や音楽堂が公共の地域芸術支援の核となる日本では、文京シビックホール、武蔵野市民会館、相模湖文化交流館、埼玉県三芳町コピスみよし、岐阜県サランカホールらの文化施設が、積極的に無観客のホールから無料配信事業を展開する。演奏機会を提供し地元演奏家を支援する事業で、規模や舞台上の安全確保から多くが室内楽となった。個人対象のアーティスト支援として、四月二十八日に東京都が『アートにエールを！東京プロジェクト』を発表。未公開制作のネット配信に助成金を与える支援で、室内楽映像も多数発表された。なお、民間主導のアメリカ合衆国では、Netflixなど映像産業が同様の実演家支援を行っている。

演奏収入をネットで得る努

## ◆巣籠もりの頃、思いを共有するツールとして

北米でロックダウンが始まった三月下旬から、ヨーロッパやミドリ社会貢献に積極的なアーティストが、自宅から短い無伴奏作品を奏でる直接の個人配信を試みている。オンラインで人々を慰め、最後に「Stay Home」と呼びかける、音楽家としてのノブレス・オブリージュであった。三月二十二日にはハノーファーからクスクスが失職したフリー奏者に支援金を募るネットライブで、ベートーヴェンを演奏している。巨匠級アーティストの室内楽ライブとしては、



ヴェンゲローフはClassic FMでチャイコフスキーのピアノ三重奏を配信。11月現在もYouTubeで視聴可能だ

力も本格化する。インターネット視聴への課金は、ビジネスモデルとして、〇年代初頭から存在したが、ベルリンフィルなどブランド力のある著名団体に留まっていた。コロナ下、世界中の演奏団体や個人がネット配信での収入を模索する。日本でも三月初めから、東京交響楽団や日本センチュリー響がニコニコ動画の投げ銭機能で実験を行っている。

日本初の有料配信チケットを販売した室内楽は、四月二日にサントリーホールブルーローズから無観客配信された反田恭平の管楽器とピアノの合奏である。四月八日の緊急事態宣言で無観客ライブも不可能となるも、六月中旬に制約下でコンサートが再開されるや、サントリーホール室内楽アカデミー修了発表会、調布音楽祭などが有料(後者は一部課金)で無観客のステージから演奏を提供した。同様の試みは海外でもあり、チェコのツェムリンスキーQ、ウィーンのシンプリーQなどがライブを有料配信。既存有料コンテンツ配信サイトも、ダニ

ヴェンゲローフが三月二十六日にコロナの犠牲者に捧げチャイコフスキーのピアノ三重奏をClassic FMの差配でロシアから無料配信した事例がある。

表現欲求をYouTubeに託し発信する音楽家は、ソーシャルメディアへの抵抗が少ない世代を中心に日本にも多数出現した。とはいえ、家族以外との練習が実質不可能なこの時期、室内楽は殆ど演奏されていない。四月から五月にかけ、和波孝禧夫妻が自宅からベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタを日々楽章毎に個人配信を続けただけである。

分割画面を埋め尽くす音楽家達のテレワーク合奏はコロナ時代のアイコンにまでなったが、個別に収録した映像の編集は遠隔で室内楽を合わせるのとは異なる。テレワークで本格的デユオやクアルテットを再現する試みは、Qアマビレの笹沼樹がシューマン《詩人の恋》をチェロとピアノでテレワークし発表す

エル・ホープラスター奏者の室内楽を配信するようになる。

夏の音楽祭シーズンを経て、室内楽のオンライン化は定着する。タングルウッド音楽祭が無観客、完全有料オンラインで開催されたのは象徴的だった。カナダのバンフ・センターも配信で弦楽四重奏フェスティバルを行う。オルカ島音楽祭が開催地から離れたテキサスからミロQ、ベートーヴェン全曲演奏ライブを有料配信、プレートークやアフタートークなどコンテンツとしての付加価値も付与する。

充実した演奏を含め、室内楽有料配信のスタンダードを確立するイベントとなった。

秋以降、コロナ長期化を見据えた世界の主要室内楽主催団



アメリカで活動するミロクアルテットはテキサスからの配信によりオルカ島音楽祭に出演した © Jeff Wilson

るなど、それなりの成果もあった。大阪大会参加予定だったフランスのQアコスも、自粛期間中も配信で活動をアピールし続ける。だが現実的には、二重奏を越えた規模のライブ合奏は、タイムラグの壁を越えるのが極めて困難。未だブレイクスルーな展開は成されていない。

この時期に判明したネット配信の大きな弱点は、配信を広く告知する方法がないことである。筆者自身、和波や笹沼の情報にSNSネットワークや個人メールなど、実質上の口コミで得ている。視野の広がりを欠き峭壺化しがちなインターネットの問題点を、あらためて痛感させられる日々であった。

## ◆音楽活動再開以降、芸術の基盤存続のツールとして

公共インフラとして税金で運営されるヨーロッパ型のオペラやオーケストラは、今こそ芸術の存在意義を示すときとばかりに、ロックダウン直後からアーカイブの無料配信を展開した。

体は、ネット視聴をメインとするシーズン構成を発表する。ヴィグモアホールは九月十三日から十二月二十二日までを秋シーズンとし、百公演を有料ライブ配信。北米では、リンカーンセンター室内楽協会、フィラデルフィア室内楽協会などが定期会員をネット視聴に移行、ライブ復活を待ちつつ来夏までを乗り切る決断をしている。

日本では、九月の大阪クラシックスが有料配信を中心に開催された。反田配信で二歩先んじたavex以下、Kajimotoやジャパンアーツら音楽事務所が所属アーティストを有料配信するプラットフォームを構築。複数配信会社と積極的に関わるハクジュホール、8Kフォーマットの実験を行うみなどみらいホールなど、ホールが中継テクノロジー側の競争を活発化させる動きもある。なお、パトロネージュを募り限られた聴衆での演奏会を開催、ネット視聴者もパトロンとする京都カフェ・モンタージュの動きは、小規模ライブハウスの生き残り策として注目したい。

# 「音楽で楽しむ世界旅行」

徳永慶子（ヴァイオリン、元アタックカヴァルテット）  
小田裕之（ピアノ）



報が入ってきました。いつも窓口  
になってもらっていて、トークも  
うまいのでアウトリーチ活動に  
は持つてこいの人物だったのです  
が本当のところ「もう一緒に仕  
事する事も無いだろうな」と  
思っていました。

ちょうどその頃、世界が変わ  
り始めます。中国武漢で新型  
ウイルスが猛威を振るい始めた  
のです。私事ですが二〇〇三年  
中国に住んでいた時、ちょうど  
SARSウイルスが流行してい  
て、収束までに半年ほどかかっ  
た事もあり、「コンクール&フェ  
スタも、それに伴うグランプリ・  
コンサートも中止になるか  
も…」と薄っすら思い始めてい  
ましたが、残念ながらそれは的中  
し、三月に入りコンクール&  
フェスタの開催見送り、グラン  
プリ・コンサートの中止が決まっ  
たのです。

さて、ここから誰も経験した  
ことが無い「ニューノーマルなコン

サート作り」が始まりました。  
本当に様々な物語があったので  
すが、このスペースでは伝えきれ  
ないので、九八%を省略させて  
頂き、徳永さんに演奏をお願い  
するまでを書かせて頂きます。  
まずは「ニューノーマルなコンサ  
ート作り」と言っても、演奏者がい  
ないとコンサートは出来ないの  
で、演奏者探しから始まりまし  
た。とは言え、グランプリ・コン  
サートは優勝団体のツアーです  
から、自ずとほとんどが外国人  
のメンバーで、四月の段階で日本  
より感染者の少ない国の団体は  
ほとんどありませんし、日本で  
すら「緊急事態宣言」の状態だ  
りる可能性はほとんど無いだろ  
うと考えていました。結局二ヶ  
所（三重・大阪）の開催となりま  
したが、当初は十二ヶ所予定さ  
れていたもので、団体を引き  
連れて公共交通機関で移動す  
る事もかなりのリスクがあると



感じていました。また、仮に状態  
が好転して秋に以前の状態に  
戻ったとしても、半年後の秋に  
日本に演奏できるような優勝  
団体がいるはずありませんで  
した。そんな時「ふと」もう一緒  
に仕事する事も無いだろう  
な…」と思っていた人を思い出す  
事となったのです。当然彼女は  
快く引き受けて頂き、そこから  
リモートでミーティングを重ね、  
感染リスクを抑える為に、彼女  
を中心とした最少人数の演奏  
会を企画する事が出来たので

す。また「コンサートって楽しか  
たよね」と思い出してもらえる  
プログラムも完成し、素晴らしい  
コンサートとなりました。まだ  
まだ書きたい事が九八%残って  
はいますが、この様な状況の中  
でも皆様のご協力で、無事演奏  
会を開催することが出来まし  
た事、この場を借りて感謝申し  
上げます。誠にありがとうございました。  
二〇二二年こそは、コン  
クール&フェスタ、グランプリ・コン  
サートが無事開催できるよう、  
今からニューノーマルな準備を始  
めたいと思います。

- 【三重公演】**
- 日時 2020年11月7日(土)  
14:30開演(13:45開場)
  - 会場 三重県文化会館 小ホール
- 
- 【大阪公演】**
- 日時 2020年11月9日(月)  
19:00開演(18:00開場)
  - 会場 住友生命いずみホール

## 「コンサートができるまで」 作・画 徳永慶子



徳永慶子（ヴァイオリン）

5歳でヴァイオリンを始める。7歳で桐朋学園子供のための音楽教室に入室。17歳で渡米し、ジュリアード音楽院予科に編入。その後同学院より学士、修士号およびアーティストディプロマを得る。2005年から2019年までアタックカヴァルテットに所属。これまでにグラミー賞（室内楽・小編成アンサンブル部門）を始め第7回大阪国際室内楽コンクール優勝、メルボルン国際室内楽コンクール3位入賞およびABCラジオクラシックFM視聴者賞受賞、コルマン国際室内楽コンクール優勝、アーティスト・インターナショナルオーディション室内楽部門優勝、チェサピーク国際室内楽コンクールで最優秀賞受賞し、2007年2月カーネギーホールでのデビュー・リサイタルを皮切りにアメリカ、カナダ、メキシコ、南米各地、ヨーロッパ、オーストラリア、日本など世界中で演奏活動を続けている。Instagramでは自身のイラストを掲載 @keikonomanga

小田裕之（ピアノ）

1975年札幌生まれ。東邦学園大学音楽学部ピアノ科を首席で卒業後、ブラハ芸術アカデミーにて巨匠 故 イヴァン・モラヴェツの高弟であるボリス・クライニー氏の許で研鑽を積んだ。2017年発売のソロCD「ヴァルタヴァの風に乗せて」は、読売新聞サウンズBOX推薦盤に選出され、「レコード芸術」誌にて「地に足のついた」趣を与える確かな音楽性」と評された。現在、桐朋学園大学非常勤講師、日本ショパン協会正会員、日本ピアノ教育連盟会員、全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）正会員、ステップアドバイザー。2014年ピティナ特別指導者賞受賞。





# 第10回 大阪国際室内楽コンクール&フェスタ

## 延期開催決定!

新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な流行に伴い、  
2020年5月の開催は見送りましたが、  
1年延期しての開催を予定しております。  
詳細は決定次第WEBサイト、SNS等で発表いたします。

### 2021. 5/16[日]▶23[日]

#### 住友生命いずみホール

富山県高岡文化ホール／三重県文化会館  
(フェスタ1次ラウンド)

#### スケジュール(予定)

日程	第1部門	第2部門	フェスタ
5/16(日)	1次予選		
17(月)		1次予選	
18(火)	2次予選		
19(水)		2次予選	
20(木)	3次予選		1次ラウンド
21(金)		本選	
22(土)	本選		
23(日)			セミ&ファイナル
24(月)	披露演奏会		
26(水)	東京披露演奏会		

※スケジュールは予告なく変更となる場合があります。ご了承ください。

#### コンクール審査委員

堤 剛(審査委員長) (チェロ/日本)  
 マーティン・ビーヴァー (ヴァイオリン/カナダ)  
 ウェイガン・リ (ヴァイオリン/アメリカ)  
 澤 和樹 (ヴァイオリン/日本)  
 モニカ・ヘンシェル (ヴィオラ/ドイツ)  
 元 舞 (ヴィオラ/アメリカ・日本)  
 セツポ・キマネン (チェロ/フィンランド)  
 ヴァンサン・コック (ピアノ/フランス)  
 エッカルト・ハイリガーズ (ピアノ/ドイツ)  
 練木 繁夫 (ピアノ/日本)

#### フェスタ審査員

審査員長 梅本 俊和 (ピアノ、大阪音楽大学名誉教授)  
 副審査員長 河野 正孝 (オーボエ、関西室内楽協会代表)  
 副審査員長 呉 信一 (トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授)

#### 出場・参加団体

2020年5月に参加予定だった団体で調整中  
決定次第WEBサイトにて発表予定

第10回特設サイト

最新情報はWEBサイト、SNS等でご確認ください。  
特設ウェブサイト <http://www.jcmf.or.jp/compeffesta2020/>



#### 2020年コンクールカレンダー

開催日程	国	コンクール名	状況	新日程
3月 3/21-4/2	スペイン	マリア・カナルス国際コンクール	延期	2021/3/13-25
3/21-30	セルビア	ペオグラド国際青年音楽コンクール	延期	2021/3/21-30
4/3-9	アンドラ公国	アンドラ国際サクソフォンコンクール	延期	2021/3/26-4/3
4月 4/27-5/3	フランス	リヨン国際室内楽コンクール	延期	2021/4/20-25
4/26-5/9	ドイツ	アンリ・マルト国際ヴァイオリンコンクール	延期	2023/4/23-5/6
5/4-13	カナダ	モントリオール国際音楽コンクール	延期	2021/5/24-6/3
5/4-14	オーストリア	国際ベートーヴェンピアノコンクール	延期	2021/4/19-28
5/4-30	ベルギー	エリザベート王妃国際音楽コンクール	延期	2021/5/3-6/9
5/15-22	日本	大阪国際室内楽コンクール&フェスタ	延期	2021/5/16-23
6/2-10	スウェーデン	ヴィルヘルム・ステーンハンマル国際音楽コンクール	延期	2021/6/10-18
6月 6/7-14	イタリア	プレミオ・パオロ・ボルチアーニ弦楽四重奏国際コンクール	延期	2021/6/5-13
7/8-25	オーストラリア	シドニー国際ピアノコンクール	オンライン開催	2021/7/2-18
7月 7/13-25	ドイツ	J.S.バッハ国際コンクール	延期	2021/7/18-28
7/30-8/9	アメリカ	世界バーチャル・ヴィルトゥオゾコンクール	オンライン開催	新規開催
8/4-25	中国	上海アイザック・スターン国際ヴァイオリンコンクール	延期	2021/8/10-29
8/6-11	イタリア	プゾーニ国際ピアノコンクール	延期(オンライン)	2020/11/7-15
8/8-16	韓国	チェジュ国際金管打楽器コンクール	延期(一部オンライン)	2020/11/5-9
8/29-9/20	ルーマニア	ジョルジュ・エネスク国際コンクール	延期	2021/5/13-23
8/31-9/18	ドイツ	ミュンヘン国際音楽コンクール	延期	2022/8/29-9/16
9/1-12	イギリス	スコットランド国際ピアノコンクール	調整中	未定
9/6-13	ハンガリー	エヴァ・マルト国際声楽コンクール	延期	2021/8/29-9/5
9/8-13	ドイツ	アイオロス国際音楽器コンクール	延期	2022/9/6-11
9/12-20	ノルウェー	グリーグピアノコンクール	延期	2021/9/17-25
9/13-20	ドイツ	デビュー・クラシック声楽コンクール	予定通り開催	—
9/14-20	スロバキア	ファンメル国際ピアノコンクール	延期	2021/9/6-12
9/21-26	イタリア	ミケーレ・ピットルガ国際ギターコンクール	延期	2021/9/20-25
9/21-26	イタリア	ミケーレ・ピットルガ国際作曲コンクール	オンライン開催	2020/9/25-26
9/21-30	ドイツ	シュベルト国際コンクール・ドルトムント	延期	2021/9/24-10/3
9/22-27	ノルウェー	トロンハイム国際室内楽コンクール	延期	2021/9/21-25
9/27-10/3	イタリア	リナ・サラ・ガロ国際ピアノコンクール	調整中	2022年開催予定
9/28-10/3	ドイツ	ケルン国際音楽コンクール	延期	2021/9/13-18
10/2-23	ポーランド	ショパン国際ピアノコンクール	延期	2021/10/2-23
10/6-19	カナダ	カナダ国際オルガンコンクール	延期	2021/10/11-25
10/9-17	イタリア	ヴィオッティ国際音楽コンクール	延期	2021年10月開催予定
10/11-21	ロシア	ホロヴィッツ記念青少年国際ピアノコンクール	延期→中止	—
10/12-15	ノルウェー	アストリッド王女国際音楽コンクール	延期	2021/11/15-18
10/23-11/5	スイス	ジュネーブ国際音楽コンクール	延期	2021/10/16-28
10/28-31	フランス	オルレアン国際ピアノコンクール	予定通り開催	(4月開催からの延期)
10/31-11/8	日本	静岡国際オペラコンクール	延期	2023/10/28-11/5
10/31-11/8	韓国	イサン・ユン国際コンクール	延期	2021/10/30-11/7
11/1-13	中国	中国深圳国際ピアノコンクール	延期	2021/10/26-11/7
11/16-21	イタリア	ボルシア市国際コンクール	調整中	2021年開催予定
11/13-22	オランダ	トロンプ国際打楽器コンクール	オンライン開催	日程は予定通り
11/16-22	オランダ	フランツ・リスト国際ピアノコンクール	調整中	2022年開催予定
11/22-12/2	フィンランド	シベリウス国際ヴァイオリンコンクール	延期	2022/5/18-29
11/23-28	イギリス	RNCM J.モットラム国際ピアノコンクール	延期	2021/11/29-12/4
11/28-12/5	オランダ	スヘルトヘンボス国際声楽コンクール	調整中	リート:2021年開催予定 オペラ:2022年開催予定
—	フランス	国際オルガンコンクール	調整中	2021年開催予定
11/3-7	チリ	ルイス・シガル国際音楽コンクール	延期	2021/8/14-21
12月 12/2-16	中国	シェーンフェルト国際弦楽コンクール	再延期	2021/7/15-30

\*2020年9月3日国際音楽コンクール世界連盟発表のリストを元に、編集部にて11月26日アップデート。

#### INFORMATION

### 2020年世界の音楽コンクール概況

2020年は新型コロナウイルス流行により、音楽・舞台業界も大きく影響を受けました。

国際音楽コンクール世界連盟が発表した、2020年に開催予定だった国際音楽コンクールの実施状況をご報告します。

本誌P7-8「世界のコンクール」と合わせてご覧ください。

国際音楽コンクール  
世界連盟ウェブサイト  
<https://wfimc-fmcim.org/>

### 2021(令和3)年度 助成金募集について

2021年度の助成金交付事業の募集は2020年10月31日(土)をもって締め切らせていただきました。申請のあったものについては2021年2月に開催予定の選考委員会で審議致します。なお2022年度の助成金募集については2021年秋に実施する予定です。

お問い合わせ:公益財団法人 日本室内楽振興財団 電話/06-6947-2183 HP/http://www.jcmf.or.jp

### 2020(令和2)年度 第1回調査研究委員会の開催

日時:2020年10月4日(日)午前10時 会場:読売テレビ本社会議室(大阪市中央区)

出席:委員長/藤野一夫(神戸大学大学院教授)

委員/伊東信宏(大阪大学大学院教授)、後藤彩子(ヴァイオリン奏者、元シューマン・カルテット)

議事:下記の調査研究テーマについて協議しました。

- ①アジアにおける室内楽(西洋音楽)の普及活動調査
- ②次世代の「室内楽とのふれあいの場」創出
- ③臨時調査「国内外コンクールの新型コロナウイルスへの対応状況」





今までの自分を空っぽにして  
新しい自分で満たしていきましょう。

高度に管理された社会、私たちは情報過多の中で常に状況判断を求められます。現代の暮らしとは、ストレスとうまく付き合うことと同義なのかもしれません。

大きく背を伸ばし、自分を空っぽにしませんか。

いつもの自分から距離を置き、非日常的な、新しい発見や刺激に触れるなかで新しい自分がどんどん満たされて、日々のストレスも忘れてしまうことでしょう。

私たちJTBは、世界各地にちらばる癒しのスポットをご案内し、旅のお手伝いをいたします。

JTB 大阪第二事業部

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8 (MPR本町ビル7階)  
TEL.06(6252)2711(代) FAX.06(6252)2790  
担当:有野 良一

## 公益財団法人日本室内楽振興財団 支援企業

- |  |  |   |
|--|--|---|
| 大阪ガス株式会社<br>関西電力株式会社   | アサヒビール株式会社<br>サントリーホールディングス株式会社<br>ハウス食品グループ本社株式会社   | 非破壊検査株式会社<br>大塚製薬株式会社<br>住友化学株式会社<br>積水化学工業株式会社<br>武田薬品工業株式会社<br>日本ペイント株式会社     |
| 住友電気工業株式会社<br>ソニー株式会社<br>株式会社東芝<br>日本電気株式会社<br>パナソニック株式会社<br>株式会社日立製作所<br>富士通株式会社<br>ローム株式会社 | 東洋紡株式会社<br>株式会社ワコール<br>伊藤忠商事株式会社<br>岩谷産業株式会社<br>株式会社千趣会<br>三菱商事株式会社  | 近畿日本鉄道株式会社<br>京阪電気鉄道株式会社<br>南海電気鉄道株式会社<br>西日本旅客鉄道株式会社<br>阪急電鉄株式会社<br>阪神電気鉄道株式会社 |
| 株式会社関西みらい銀行<br>株式会社みずほ銀行<br>株式会社三井住友銀行<br>三井住友信託銀行株式会社<br>株式会社三菱UFJ銀行<br>株式会社りそな銀行           | 川崎重工業株式会社<br>株式会社クボタ<br>ダイキン工業株式会社<br>日本製鉄株式会社<br>日立造船株式会社<br>三菱重工業株式会社                                    | 株式会社JTB<br>株式会社電通<br>株式会社ニュー・オータニ<br>KDDI株式会社<br>西日本電信電話株式会社                    |
| 住友生命保険相互会社<br>大樹生命保険株式会社<br>東京海上日動火災保険株式会社<br>日本生命保険相互会社                                     | 株式会社日建設計<br>株式会社大林組<br>鹿島建設株式会社<br>株式会社きんでん<br>株式会社鴻池組<br>清水建設株式会社<br>大成建設株式会社<br>大和ハウス工業株式会社<br>株式会社竹中工務店 | 株式会社読売新聞大阪本社<br>株式会社読売新聞東京本社<br>日本テレビ放送網株式会社<br>讀賣テレビ放送株式会社                     |
| 野村證券株式会社   |  | (関連業種別50音順)   |

## C O N T E N T S

インタビュー ウェールズ弦楽四重奏団 出席者: 崎谷直人・三原久遠・横溝耕一・富岡廉太郎 .....1	○コロナ・パンデミック下の室内楽と配信 渡辺和 .....11
特集 コロナ禍におけるクラシック音楽業界の動向 ○世界の音楽コンクール 河井拓 .....7	グランプリ・コンサート2020代替公演 「音楽で楽しむ世界旅行」 柳圭史 .....13
○欧州最新情報 — ドイツ・ベルリンから 中村真人 .....9	INFORMATION .....15
○ステージマネージャーの景色から 小味潤彦之 .....10	JCMF NEWS .....15
	第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ 延期開催決定! .....16
	日本室内楽振興財団支援企業 .....17

あ  
と  
が  
き

新型コロナウイルス感染症の流行は、クラシック音楽業界にも大きな影響がありました。今号では、前号に引き続きコロナ禍のクラシック音楽業界の動向を特集、様々な方向から現状を記録しました。また、グランプリ・コンサートは開催できなかったものの、代替公演の開催は各所の協力により叶い、大きな収穫となりました。来年のコンクール&フェスタの開催を祈りつつ、いつか「こんなこともあったな」と笑って話せる日が来ることを願っています。

奏

●編集・発行／公益財団法人 日本室内楽振興財団  
〒540-8510 大阪市中央区城見1丁目3-50 読売テレビ本社ビル1階  
TEL.(06)6947-2183 FAX.(06)6947-2198  
URL <http://www.jcmf.or.jp>  
Cover Design : Mié  
\*2019年9月1日より事務所を移転しました。  
VOL.54 令和2年12月4日

